

昭和五十九年度大会の概況 日本思想史学会昭和五十九年度大会は、十月二十七日（土）・十月二十八日（日）の二日間にわたり、東北大学を会場として開催された。

第一日は、主題講演が行われた。講演者と演題は次の通りである。

『日本人のカミの観念』

古代におけるカミ

カミの観念 —— その変遷と根底にあるもの ——

講演終了後、総会が行われ、事務局より昭和五十八年度事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて事務局より昭和五十九年度事業計画および予算案が提案され、審議の結果、それぞれ事務局案通り決定された。

引き続き、三井アーバンホテルにおいて懇親会が催された。

第二日は、研究発表が行われた。発表者は次の諸氏である。

- 1、古代の「勅」について
- 2、「はふり」の変遷
- 3、中世土地証文における「不孝之仁」記載文書について
- 4、親鸞における功德の在り方
- 5、『元亨釈書』における史料採取の方法
- 6、神国思想の一側面
- 7、西川如見の思想 —— 町人意識と天学 ——
- 8、大潮元皓と获生徂徠
- 9、仁斎学の継承 —— 伊藤東涯の『易』解釈 ——
- 10、上田作之丞の実学
- 11、幕末農学思想の人間観 —— 大蔵永常を中心に ——
- 12、大國隆正における国学四大人観の形成過程
- 13、横井小楠における朱子学自覚とその政治思想の構造的転換
- 14、井伊直弼の人物像について
- 15、中村正直における禍福賞罰論と敬天の位相
- 16、日本におけるS・スマイルズ『労働論』の受容

岩手大学学院	東北大学	九州大学	朝霞高校	皇学館大学	小山工業高専	東北大学大学院	宮城大学	長崎大学	東北福祉大学	神宮司庁・神宮文庫嘱託	日比谷高校	愛知学院大学	筑波大学大学院
藤原	井上	山口	山崎	松浦	松島	八木	前田	高橋	佐久間	黒川	新保	鈴木	早川
明	宗	孝	光	隆	清	博	美	典	銳	泰	万	勢	三氏
暹	美	之	俊	修	裕	勉	巳	正	紀	雄	哲	彦	年